

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
平成20年度より課税開始／一般課税制度選択

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	425,250	0	335,625,818
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	425,250	0	371,925,818
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	591,429	668,177	0	1,259,606
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,171,489	653	0	2,172,142
(3) 俳諧資料室事業引当資産	15,000,000	0	0	15,000,000
小 計	17,762,918	668,830	0	18,431,748
合 計	389,263,486	1,094,080	0	390,357,566

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,625,818	(0)	(335,625,818)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,925,818	(0)	(371,925,818)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	1,259,606	(0)	(1,259,606)	(1,259,606)
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,172,142	(0)	(2,172,142)	(0)
(3) 俳諧資料室事業引当資産	15,000,000	(15,000,000)	(0)	(0)
小 計	18,431,748	(15,000,000)	(3,431,748)	(1,259,606)
合 計	390,357,566	(15,000,000)	(375,357,566)	(1,259,606)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	397,844,566	198,126,588	199,717,978
什器備品	30,169,584	21,679,259	8,490,325
合 計	428,014,150	219,805,847	208,208,303